

工事番号	0707012023
------	------------

(様式 - 1)

市長		副市長		部長		課長		係長		照査		設計者			
----	--	-----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--	--	--

令和 6 年度

地方創生道整備推進交付金事業  
市道一重山2号線地質調査その2業務委託

閲覧設計書

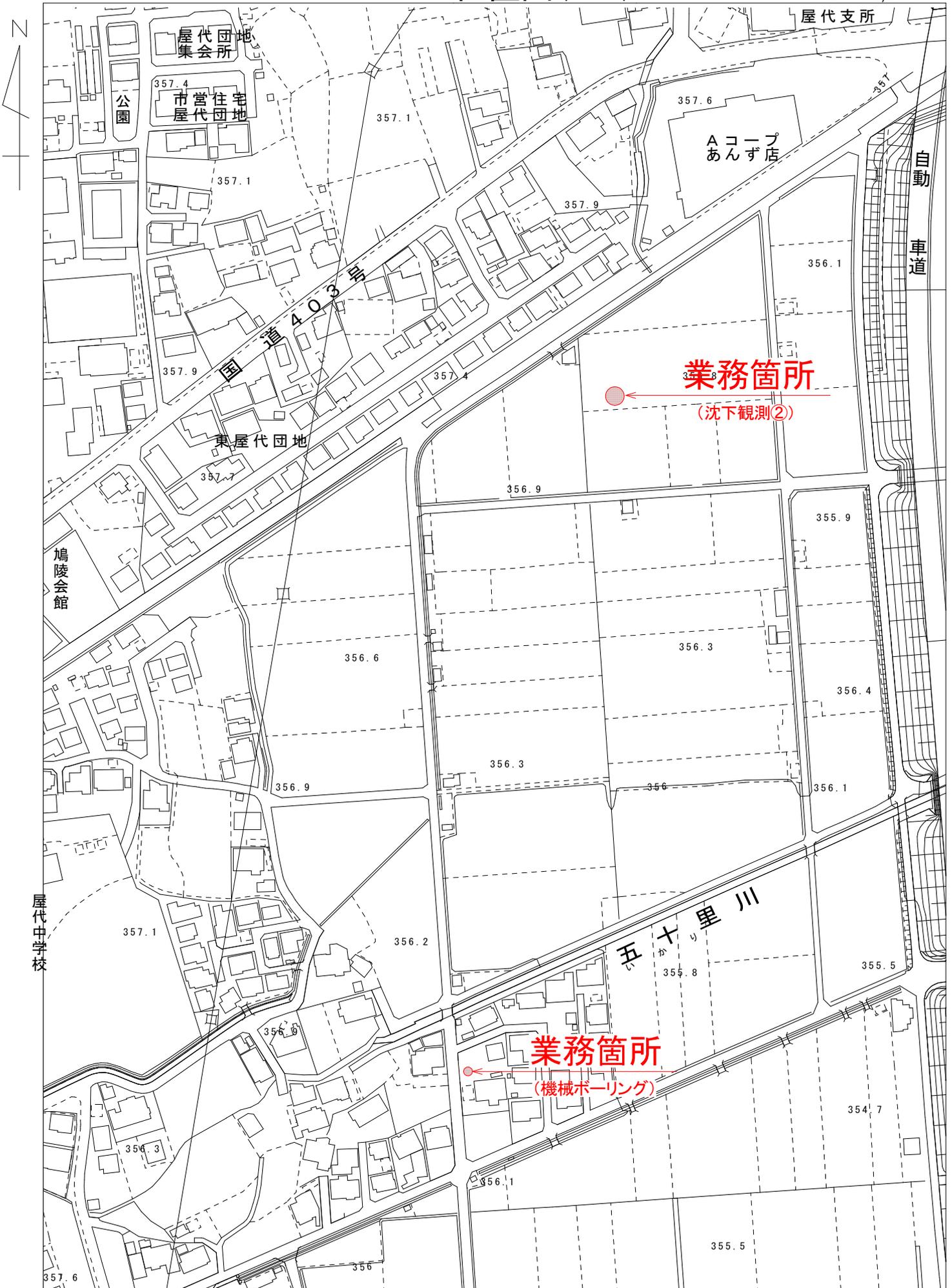
市道一重山2号線

千曲市 大字 屋代

設 計 大 要	施 工 方 法	委 託
【一般調査】 機械ボーリング 6.6mm L = 15.0m 機械ボーリング 8.6mm L = 4.0m 標準貫入試験 N = 15回 【解析等調査】 地質解析 N = 1業務 【測量】 沈下観測 L = 0.2km	施 工 期 間	日間
	起工予定年月日	令和 7 年 12 月 日
	竣工予定年月日	令和 8 年 2 月 27 日
	契約保証方法	
	・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m <sup>3</sup> 、掛m <sup>2</sup> 、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。	

# 位置図(1/2)

S=1:2,500



# 位置図(2/2)

S=1:2,500



# 総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	53 1 4 北信(1) 07.12.01		
発注区分 消費税率(%) 地域区分(地質調査安全費)	当 世 代 41 一般 10 % 01 率分計上無し	前 世 代	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

# \*\*地質・土質調査費\*\*

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
**地質・土質調査費**										
一般調査										
直接調査費										
機械ボーリング										
土質ボーリング オールコアボーリング 6.6mm 粘性土・シルト 鉛直下方	10		m							施工 第0 -0001号表
土質ボーリング オールコアボーリング 6.6mm 玉石混じり土砂 鉛直下方	5		m							施工 第0 -0002号表
土質ボーリング ノンコアボーリング 8.6mm 粘性土・シルト 鉛直下方	4		m							施工 第0 -0003号表
サンプリング										
固定ピストン式シンウォールサンプラー シンウォールサンプリング 粘性土	1			本						施工 第0 -0004号表

# \* \* 地質・土質調査費 \* \*

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
サウンディング及び原位置試験			式			
標準貫入試験 粘性土・シルト	10		回			施工 第0 -0005号表
標準貫入試験 玉石混じり土砂	5		回			施工 第0 -0006号表
孔内载荷試験 プレッシャーメータ・ボアホールジャッキ 普通载荷（2.5 MN / m <sup>2</sup> 以下）	1		回			施工 第0 -0007号表
現場透水試験 ケーシング法 GL - 10m以内	1		回			施工 第0 -0008号表
室内土質試験			式			
土粒子の密度試験 1試料につき3個	1		試験			
土の含水比試験 1試料につき3個	1		試験			
土の粒度試験 (1) 粘土・粘性土 1試料 - 1個 沈降分析	2		試験			

# \*\*地質・土質調査費\*\*

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土の液性限界試験 粘土・粘性土 1 試料につき 6 個										
	2			試験						
土の塑性限界試験 粘土・粘性土 1 試料につき 3 個										
	2			試験						
土の湿潤密度試験 1 試料につき 3 個 (A 法寸法測定法)										
	1			試験						
土の圧密試験 1 試料 1 供試体										
	1			試験						
土の一軸圧縮試験 1 試料 2 供試体										
	1			試験						
三軸圧縮試験 (1) 1 試料 3 供試体 (UU 試験)										
	1			試験						
地質解析										
資料整理とりまとめ (直接調査費分) 土質ボーリング 1 本 岩盤ボーリング 0 本										
	1			業務						施工 第0 -0009号表
断面図等の作成 (直接調査費分) 土質ボーリング 1 本 岩盤ボーリング 0 本										
	1			業務						施工 第0 -0010号表

# \*\*地質・土質調査費\*\*

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接経費						
	電子成果品作成費 機械ボーリング等市場単価		式			
	直接調査費は成果品作成費・検定費を除く	1	式			施工 第0 -0011号表
	** 直接調査費 **					
	** 運搬費 **					
	3t車(2.9t吊りクレーン付き) 資機材運搬					
		2	日			施工 第0 -0012号表
	** 準備費 **					
	準備及び跡片付け					
		1	業務			施工 第0 -0013号表
	調査孔閉塞					
		1	箇所			施工 第0 -0014号表
	** 仮設費 **					

# \*\*地質・土質調査費\*\*

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
足場仮設 平坦地足場 深度5.0m以下 高さ0.3m超	1			箇所					施工	第0 -0015号表
** 旅費交通費 **										
旅費交通費（地質調査業務）										
直接調査費(円)×旅費交通費率2.14% 直接調査費は地盤情報DB検定費を除く	1			式					施工	第0 -0016号表
** 施工管理費 **										
施工管理費(出来高及び工程管理写真等)										
直接調査費は地盤情報DB検定費を除く	1			式					施工	第0 -0017号表
** 間接調査費 **										
** 純調査費 **										
** 諸経費 **										
** 調査業務価格計 **										

# \*\*地質・土質調査費\*\*

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
**消費税等 相当額計**						
**調査業務費計**						

# 施工内訳表

施工 第0 -0001号表

土質ボーリング

オールコアボーリング 66mm

粘性土・シルト 鉛直下方

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土質ボーリング(オールコアボーリング) 径66mm 粘性土・シルト	1.000	m			
*** 単位当り ***	1	m			
ボーリング種別：オールコアボーリング 土質区分：粘性土・シルト せん孔方向：鉛直下方			ボーリング径： 66mm せん孔深度：せん孔深度 50m以下		

# 施工内訳表

土質ボーリング

オールコアボーリング 66mm

玉石混じり土砂 鉛直下方

施工 第0 -0002号表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土質ボーリング(オールコアボーリング) 径66mm 玉石混じり土砂	1.000	m			
*** 単位当り ***	1	m			
ボーリング種別：オールコアボーリング 土質区分：玉石混じり土砂 せん孔方向：鉛直下方			ボーリング径： 66mm せん孔深度：せん孔深度 50m以下		







# 施工内訳表

標準貫入試験  
玉石混じり土砂

施工 第0 -0006号表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験 玉石混じり土砂	1.000	回			
*** 単位当り ***	1	回			
土質区分：玉石混じり土砂					

# 施工内訳表

施工 第0 -0007号表

孔内載荷試験

プレッシャーメータ・ボアホールジャッキ 普通載荷(2.5MN/m<sup>2</sup>以下)

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
孔内載荷試験 普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下)	1.000	回			
*** 単位当り ***	1	回			
載荷条件:普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下)					



# 施工内訳表

施工 第0 -0009号表

資料整理とりまとめ（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

1

業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
資料整理とりまとめ 直接人件費（直接調査費分）	1.000	業務			
*** 単位当り ***	1	業務			
土質ボーリング本数（本）：1			岩盤ボーリング本数（本）：0		

# 施工内訳表

施工 第0 -0010号表

断面図等の作成（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

1

業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
断面図等の作成 直接人件費（直接調査費分）	1.000	業務			
*** 単位当り ***	1	業務			
土質ボーリング本数（本）：1				岩盤ボーリング本数（本）：0	



# 施工内訳表

施工 第0 -0012号表

3t車 (2.9t吊りクレーン付き)  
資機材運搬

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ロ-リ- パトロール給油	10.6	L			
運転手(特殊)	0.4	人			
トラック損料 クレーン装置付3~3.5t積 吊能力2.9t (9)欄	2	時間			
トラック損料 クレーン装置付3~3.5t積 吊能力2.9t (11)欄	1	供用日			
*** 単位当り ***	1	日			



# 施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
調査孔閉塞	1.000	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			

# 施工内訳表

足場仮設  
平坦地足場 深度5.0m以下

高さ0.3m超

施工 第0 -0015号表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
平坦地足場 高さ0.3m超	1.000	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			
足場種別：平坦地足場 ボーリング深度： 深度5.0m以下			高さ：高さ0.3m超		





# 総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	53 1 4 北信(1) 07.12.01		
設計委託区分 消費税率(%) 発注区分 電子成果品作成費区分	当 世 代 01 設計・解析(技術経費無) 10 % 41 一般(建設コンサルタント) 02 その他設計業務	前 世 代	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

# \*\*地質・土質調査費（技術解析）\*\*

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
**地質・土質調査費（技術解析）**						
解析等調査			式			
直接調査費			式			
打合せ（地質調査業務） 中間打合せ1回	1		業務			施工 第0 -0001号表
既存資料の収集・現地調査 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0002号表
資料整理とりまとめ（解析等調査業務費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0003号表
断面図等の作成（解析等調査業務費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0004号表
総合解析とりまとめ 試験種目 4～5種 土質Bo1本 岩盤Bo0本 電子成果品作成費対象外	1		業務			施工 第0 -0005号表
**直接人件費等**						

# \*\*地質・土質調査費（技術解析）\*\*

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 旅費交通費 **						
旅費交通費（土木設計業務）						
直接人件費(円) × 旅費交通費率 0.63%	1		式			施工 第0 -0006号表
** 電子成果品作成費 ** その他設計業務						
** 直接経費 **						
** 直接原価 **						
** その他原 価 **						
** 設計業務原価 **						
** 一般管理 費等 **						
** 設計業務価格計 **						

# \*\*地質・土質調査費（技術解析）\*\*

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
**消費税等 相当額計**											
**設計業務費計**											

# 施工内訳表

施工 第0 -0001号表

打合せ（地質調査業務）  
中間打合せ1回

1 業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 内業	1.500	人			内業
技師（A） 内業	1.000	人			内業
技師（B） 内業	0.500	人			内業
*** 単位当り ***	1	業務			
中間打合せ回数（回）：1					







# 施工内訳表

施工 第0 -0005号表

総合解析とりまとめ

試験種目 4~5種

土質Bo 1本

岩盤Bo 0本

電子成果品作成費対象外

1

業務 当り

名称・規格など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
総合解析とりまとめ 直接人件費（解析等調査業務費分）	1.000		業務			
*** 単位当り ***	1		業務			
土質ボーリング本数（本）：1 試験種目数：試験種目 4~5種				岩盤ボーリング本数（本）：0		

旅費交通費（土木設計業務）

# 施工内訳表

施工 第0 -0006号表

頁0-0010

直接人件費(円)×旅費交通費率0.63%

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費	1.000	式			
*** 単位当り ***	1	式			

# 総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	53 1 4 北信(1) 07.12.01		
発注区分 消費税率(%) 地域区分(安全費) 電子成果品作成費	当 世 代 41 一般 10 % 01 率分計上無し 02 その他又は計上なし	前 世 代	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

# \* \* 測量業務費 \* \*

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 測量業務費 * *					
応用測量					
水準測量		式			
簡易水準測量 観測距離 100 km以下 耕地 / 丘陵地	0.2	km			施工 第0 -0001号表
* * 直接作業費 * *					
* * 旅費交通費 * *					
旅費交通費（測量業務） 直接人件費(円) × 旅費交通費率 0.56%	1	式			施工 第0 -0002号表
* * 間接作業費 * *					
* * 直接測量費 * *					

# \* \* 測量業務費 \* \*

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 諸経費 * *						
* * 測量業務価格計 * *						
* * 消費税等 相当額計 * *						
* * 測量業務費計 * *						

# 施工内訳表

簡易水準測量  
観測距離100km以下

耕 地 / 丘陵地

施工 第0 -0001号表

10 km 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量技師 内業	0.500	人			内業
測量技師補 内業	0.500	人			内業
測量助手 内業	0.500	人			内業
測量技師 外業	1.500	人			外業
測量技師補 外業	2.000	人			外業
測量助手 外業	2.000	人			外業
機械経費	5.500	%			(直接人件費) × 率
通信運搬費等	0.500	%			(直接人件費) × 率
材料費	0.500	%			(直接人件費) × 率
精度管理費	5.000	%			(直接人件費 + 機械経費) × 率
変化率補正					上記金額の合計額 × 変化率 変化率 1.1
*** 合 計 ***	10	k m			





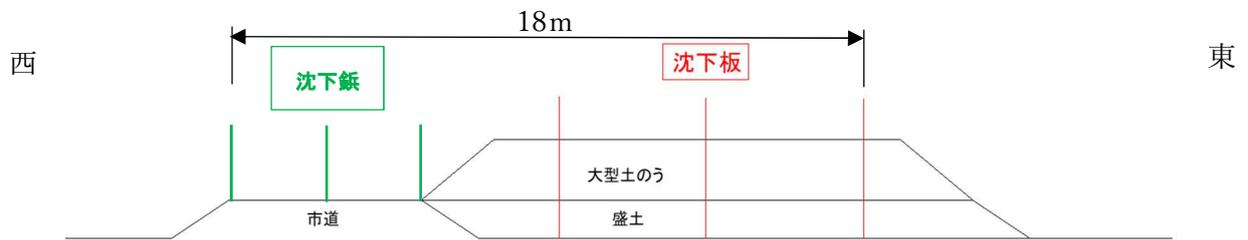
## 数 量 調 書

種別等	名 称	規格	単 位	数 量	変更数量	備考
一般調査						
直接調査費						
機械ボーリング						
	土質ボーリング	オールコアボーリング φ66mm粘性土・シルト	m	10.0		
	土質ボーリング	オールコアボーリング φ66mm玉石混じり土砂	m	5.0		
	土質ボーリング	ノンコアボーリング φ86mm粘性土・シルト	m	4.0		
サンプリング						
	固定ピストン式シンウォールサンプラー	シンウォールサンプリング 粘性土	本	1		
サウンディング及び原位置試験						
	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	10		
	標準貫入試験	玉石混じり土砂	回	5		
	孔内載荷試験	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> )	回	1		
	現場透水試験	ケーシング法 GL-10m以内	回	1		
室内土質試験						
	土粒子の密度試験	1 試料につき 3 個	試験	1		
	土の含水比試験	1 試料につき 3 個	試験	1		
	土の粒度試験	粘土・粘性土 1試料-1個 沈降分析	試験	2		
	土の液性限界試験	粘土・粘性土 1 試料につき 6 個	試験	2		
	土の塑性限界試験	粘土・粘性土 1 試料につき 3 個	試験	2		
	土の湿潤密度試験	1 試料につき 3 個	試験	1		
	土の圧密試験	1 試料 1 供試体	試験	1		
	土の一軸圧縮試験	1 試料 2 供試体	試験	1		

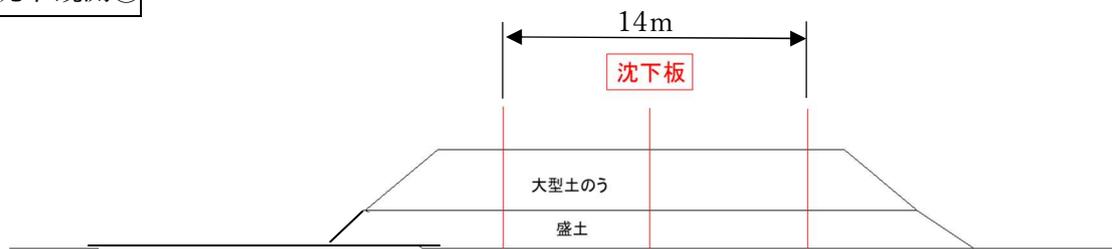
	三軸圧縮試験	1 試料 3 供試体 (U U 試験)	試験	1		
解析等調査						
	資料整理とりまとめ	土質ボーリング1本	業務	1		
	断面図等の作成	土質ボーリング1本	業務	1		
直接経費						
	電子成果品作成費		式	1		
間接調査費						
運搬費						
	3t車 (2.9t吊りクレーン付き)	資機材運搬	日	2		
準備費						
	準備及び跡片付け		業務	1		
	調査孔閉塞		箇所	1		
仮設費						
	足場仮設	平坦地足場 深度50m以下 高さ0.3m超	箇所	1		
旅費交通費						
	旅費交通費 (地質調査業務)		式	1		
施工管理費						
	施工管理費 (出来高及び工程管理写真等)		式	1		

解析等調査						
直接調査費						
	打合せ（地質調査業務）	中間打合せ1回	業務	1		
	既存資料の収集・現地調査	土質ボーリング1本	業務	1		
	資料整理とりまとめ	土質ボーリング1本	業務	1		
	断面図等の作成	土質ボーリング1本	業務	1		
	総合解析とりまとめ	試験種目4～5種 土質ボーリング1本	業務	1		
旅費交通費						
	旅費交通費（土木設計業務）		式	1		
測量						
水準測量						
	簡易水準測量	観測距離100 k m以下	km	0.2		
旅費交通費						
	旅費交通費（測量業務）		式	1		

沈下観測①



沈下観測②



簡易水準測量

観測回数：3回（業務着手時、ボーリング作業時、業務完了前）

①  $18\text{m} \times 2 \text{箇所} \times 3 \text{回} = 108\text{m} \dots 0.108\text{km}$

②  $14\text{m} \times 1 \text{箇所} \times 3 \text{回} = 42\text{m} \dots 0.042\text{km}$

① + ②  $0.108 + 0.042 = 0.15\text{km}$

# 測量設計業務特記仕様書

千曲市 建設部 道路河川課 SIC・一重山線整備係

## 第1章 総則

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、令和7年度の下記事業に伴う測量設計業務委託に適用する。

事業名	路・河川名	地区	箇所名
市道一重山2号線地質調査その2業務委託	市道一重山2号線	千曲市	屋代

(業務管理)

第2条 受託者(以下「乙」という。)は、受託設計書、長野県建設部制定の地質・土質調査共通仕様書、本特記仕様書、業務打合せ書及び関係法令を遵守し、指定した監督員の指示を受け正確に施行しなければならない。

(履行期間)

第3条 本委託の履行期間は、契約日から令和8年2月27日までとする。

## 第2章 作業概要

(業務概要)

第4条 本作業は、市道一重山2号線道路改良事業において、プレロードによる引込み沈下対策を検討するために必要な知見を得るための地質調査業務である。

業務委託条件は下記のとおりとする。

<b>【一般調査】</b>	
機械ボーリングΦ66mm	L= 15.0 m
機械ボーリングΦ86mm	L= 4.0 m
標準貫入試験	N= 15 回
<b>【解析等調査】</b>	
地質解析	N= 1 業務
<b>【測量】</b>	
沈下観測	L= 0.2 km
<b>特記事項</b>	
・調査箇所は監督員と協議のこと。	
・調査立ち入り時は、地権者の了解を得て実施のこと。	
・監督員立会の下、検尺実施のこと。	
・本業務の調査結果から設計業務と調整を図ること	
・調査データ電子データ(CD-R)にて提出のこと。	
(提出ファイル形式等は、監督員と協議すること)	

### 第3章 打ち合わせ及び検査

(技術者について)

第5条 本作業の主任技術者には、技術士（応用理学部門（地質）又は建設部門（土質及び基礎）又は総合技術監理部門（建設-土質及び基礎）又はRCCM（地質部門又は土質及び基礎部門）又は認定技術管理者（地質又は土質及び基礎）あるいは地質調査技士の資格を有する者とする。

(品質保証)

第6条 本業務の成果品は、「規程」等の諸条件を満たさなければならない。業務完了後「乙」の過失又は、疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、速やかに訂正を行うものとする。

(打ち合わせ)

第7条 「乙」は、業務着手時、中間、納品とりまとめ時に監督員と打ち合わせを実施し、業務の進捗に支障のないようにするものとする。また、中間打ち合わせ及び成果品納入時には、管理技術者が立ち会うこと。

(検査)

第8条 「乙」は、業務中たえず点検及び品質管理を行い、業務の最終段階においては、全体的な点検、検査を行うものとする。

(成果品)

第9条 提出成果品の内容は地質・土質調査共通仕様書によるものとする。

1. 図面（白黒及びカラーコピー）を含む報告書 1部
2. 電子データ（CD-R） 2枚

\*電子納品に係る実施要領に則ること。

その他必要なものは、別途指示する。

(検証会議)

第10条 本業務発注後、監督員、施工業者による本業務の妥当性を検証する会議を行うことがあり、発注者から参加の指示があった場合は、「乙」は参加しなければならない。

また、検証会議において、委託成果品の内容に受託者の責に伴う業務の瑕疵あるいは変更が生じた場合は、「乙」は速やかに当該業務の修正を行い提出しなければならない。

# 電子納品に係る実施要領

(令和6年5月1日制定)

(目的)

第1 この要領は、千曲市の建設工事及び建設工事に係る測量設計業務等（以下、「工事等」という。）における電子納品を進めるための実施方法等を定め、公共工事におけるCALS/E Cの推進を図ることを目的とする。

(電子納品の定義)

第2 「電子納品」とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することで、業務の次段階における活用を容易にし、品質の向上や業務の効率化を図ることをいう。ここでいう電子データとは、各電子納品要領（案）等に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

(対象工事等)

第3 原則として全ての工事等を対象とする。ただし、発注者が不要と認めた場合はこの限りでない。

(対象成果品)

第4 電子納品の対象となる成果品は、次に規定される成果品とする。

- ・土木工事共通仕様書（施工管理基準、写真管理基準等を含む）
- ・測量業務共通仕様書
- ・地質・土質調査共通仕様書
- ・設計業務共通仕様書
- ・用地調査等共通仕様書（第3章～第3章の7に該当するもの）

(経費の取り扱い)

第5 電子納品の作成に係る経費の取り扱いは以下のとおりとする。なお、第11で規定する成果品の提出部数によらない場合は、特記仕様書に明示するほか、別途、必要経費を考慮するものとする。

- 1) 工事：共通仮設費率に含まれるものとする。
- 2) 業務：各分野の積算基準で定める「電子成果品作成費」を計上するものとする。

(要領・基準)

第6 千曲市の電子納品は、特に記載のない限り国土交通省の電子納品要領及び関連基準（以下「要領・基準類」という。）を準用する。【別記】

(運用に関する手引き)

第7 千曲市の電子納品に関する下記事項等の運用については、別に定める「運用の手引き」による。【別記】これに定めのない事項については、国土交通省の「電子納品等運用ガイドライン [土木工事編]、電子納品運用ガイドライン [業務編]」に準じて受発注者間で協議して定めることとする。

- ・要領・基準類の千曲市での読み替え
- ・受発注者間で協議確認する際に使用する「チェックシート」
- ・電子納品対象書類の範囲

- ・電子ファイルのアプリケーションソフト、バージョン
- ・施工中の書類の取り扱い
- ・電子成果品の保管管理
- ・千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則1枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、1つの工事管理ファイル（index\_c.xml、 index\_d.xml）により管理されるものとします。

（協議確認事項）

第8 電子納品の実施にあたり、受発注者間で協議・確認すべき内容をチェックシートにより行う。

○事前協議

工事等の着手時に、期間中の電子納品に関する疑問を解消し円滑に電子納品を実施するため、「事前協議チェックシート」を用いて受発注者間で電子納品の対象書類やファイル形式について協議。

（納品媒体）

第9 納品する電子媒体は基本的にCD-RもしくはDVD-Rとする。CD-Rの論理ファイルフォーマット形式はJoliet※とし、DVD-Rの論理ファイルフォーマット形式は、UDF（UDF Bridge）とする。なお、中途における情報のやり取りについては、受発注者協議の上、他の電子媒体を認めることとする。

（納品物のチェック）

第10 受注者は、電子成果物を納品する前に、必ず国土交通省から提供される最新版の「電子納品チェックシステム」によりチェックを行い、エラーを解消させることとする。また、ウィルスチェックを行い、ウィルスが検出されないことを確認することとする。

（工事等完成図書の提出部数）

第11 建設工事電子データにより納品する成果品については、電子データを格納した電子媒体をもって原図・原稿及び製本に代えるものとし、提出部数は以下のとおりとする。

①工事完成図書

電子納品対象書類	電子媒体（CD-R・DVD-R）	2部（正・副）
	紙媒体 工事写真のうち「着手前・完成」	1部（その他協議による）
上記以外	紙媒体	1部

②業務完成図書書類	電子媒体（CD-R・DVD-R）	2部（正・副）
	紙媒体	1部

・電子媒体ラベルへの記載項目のうち、工事等名称については、路河川名及び市町村名、字名を含むものとする。

（電子納品の検査）

第12 電子成果品の書類検査は、電子データで検査することを原則とし、必要がある場合に限り紙での出力により対応する。検査に必要な機器の準備は、原則として受注者が行う。機器の操作は、受注者が主に行い、発注者は操作補助を行う。

（適用）

第13 この要領は、令和6年5月1日以降に入札公告を行う工事等から適用する。

※ J o l i e t (ジョリエット)

マイクロソフト社が設計した、ISO9660の拡張規格であり、1文字2バイトで表現するUnicodeを採用し、128バイト(64文字)までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどのOSに対応しており、Jolietを利用できないシステムでもISO 9660レベル1として読み込めるようになっていることから、ワープロソフト等で一般的になった4文字の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での標準として採用しました。

(国土交通省電子納品運用ガイドラインによる)

【別記】千曲市が準用する「要領・基準類」及び「運用に関する手引き」等

(令和6年4月1日現在)

○国土交通省「要領・基準類」は以下のとおり。

要領・基準

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| ・ 工事完成図書の電子納品等要領  | 令和5年3月   |
| ・ 土木設計業務等の電子納品要領  | 令和5年3月   |
| ・ CAD製図基準         | 平成29年3月  |
| ・ デジタル写真管理情報基準    | 令和5年3月   |
| ・ 測量成果電子納品要領      | 令和3年3月   |
| ・ 地質・土質調査成果電子納品要領 | 平成28年10月 |

ガイドライン類

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| ・ 電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】   | 令和5年3月  |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【業務編】      | 令和5年3月  |
| ・ CAD製図基準に関する運用ガイドライン    | 平成29年3月 |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【測量編】      | 令和3年3月  |
| ・ 電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】 | 平成30年3月 |

○国土交通省関東地方整備局「運用に関する手引き」は以下のとおり。

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| ・ 電子納品に関する手引き（案）[土木工事編] | 平成21年10月 |
| ・ 電子納品に関する手引き（案）[業務編]   | 平成21年10月 |

○納品時に使用するチェックシステムは以下のとおり。

- ・ 国土交通省から提供される電子納品チェックシステムの最新版
- ・ OCFの「SXF確認機能検定」に合格したソフトウェア  
(CAD製図基準に基づいて作成された図面を見る場合)

○千曲市工事では、完成図面（100%出来形展開図等）、工事写真を電子納品の対象とし、原則1枚の納品媒体に格納することとします。格納された各データは、1つの工事管理ファイル（index\_c.xml、index\_d.xml）により管理されるものとします。

<参考資料>

- 国土交通省「電子納品に関する要領・基準」  
<http://www.cals-ed.go.jp/youryou-rev-20230323>
- 電子納品チェックシステム [http://www.cals-ed.go.jp/edc\\_download/](http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/)